――ニッチトップ企業の挑戦

茨城県特集

新市場開拓の意気込み

グローバル化のなか、大手企業は海外で調達・生産・販売する「地産地消」を進めており、下請け中小企業との付き合い方が変わってきている。こうした時代にキラリと光る中小企業であるために何が必要なのか。茨城産業人クラブは5月14日に「グローバル時代を勝ち抜く―ニッチトップ企業の挑戦」をテーマに経済講演会を開催。国内外のそれぞれの分野で高いシェアを持つ県内4企業の経営者が議論を交わした。

元気企業

中嶋　日本の経済・産業は確実にグローバル化に向かって進んでいます。これまで価格競争が中心でしたが、今後は世界を新しい市場としてどう捉えるかを真剣に考える時期にきていると思います。今日の電力供給問題や為替の問題など、困難な課題が中小企業を取り巻いています。このなかで元気な中小企業でいるためには、独創的で高い技術力に裏付けられた、ニッチな領域でシェアを高く持つことではないでしょうか。こうした問題意識を持ちながら、今回はニッチトップの地位を築いた県内4社の経営者層に集まってもらいました。

それではまず、企業紹介と高いシェアを持つ製品や市場動向などについて、説明してもらいたいと思います。大谷さんからお願いします。

大谷　当社は工業用各種ヒーター、加熱機器装置の技術開発、設計、製造、販売をしています。シーズヒーターをコア技術に、液晶装置用にシーズヒーターを設立しました。

建設機械の油圧ショベル向け部品で自社生産量の約9割を占め、特に油圧ショベルに使用されるコントロールバルブのスプールは世界シェアの約40％を占めています。スプールをサブ組みしてキット化し、これをジャストインタイムで納入しています。これ以外にはフォークリフト・農機用のバルブやそれらの部品も製造しています。

業績が2001年から急成長しましたのは、中国の建機市場が2000年頃から急拡大したからです。その様子を上海から観察し、情報を収集し、日本での設備投資のタイミングに役立てました。上海工場は先行投資と言えます。今後は日本と中国の相乗効果を出しながら、事業展開していきたいと考えています。

中嶋　ありがとうございました。続いて高山さんお願いします。

高山　当社はシリコンや金属など数百種類以上の半導体素材を研磨加工しています。特に携帯電話の高周波、中間周波フィルターとして使われる表面弾性波フィルター用の基板材料の研磨では、世界市場で約30％を占めます。

当社の強みは、超平たん化、超平滑化、超薄化、超無ひずみ化、超清浄化の「5超の技術と技能」です。常にお客さまから新しい素材を提供してもらい、それを加工することで、お客さまの作ろうとするモノの価値創造のパートナーになる一方で、自社の研磨技術も探求しています。技術を支えるための努力や社員のモチベーションの維持・継続にも力を入れています。

中嶋　ありがとうございました。最後に富田さんお願いします。

富田　当社は宇宙開発や航空機技術をベースに、エンジニアリングを提供しています。他社に負けない技術は、人工衛星やロケットなどの宇宙機の試験技術です。宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター（茨城県つくば市）の大型の試験設備の運用を受託しており、そこで使う人工衛星やロケットの試験のすべてに関与しています。

当社ではこの試験技術を航空機の試験にも応用し、受託しています。また、試験技術から派生して、自社で試験設備を製造しています。例えば、熱真空試験用IRヒーターのコントローラーや、宇宙用バッテリー試験装置があります。それ以外には、植物実験をするときに使う装置や、瞬時に断線を観測する「瞬断検出器」もあります。これらはすべて、大量には売れないが、この分野に必要という試験設備です。

パネリスト

新熱工業　社長　大谷　直子 氏

協立製作所　社長　高橋　日出男氏

日本エクシード　社長　高山　直紀 氏

エイ・イー・エス　専務筑波事業所長　富田　一正 氏

（氏名．五十音順）

〈モデレーター〉

茨城県　商工労働部　産業技術課長　中嶋　勝也 氏

生産設備を自社開発

取引先の先のニーズを

大谷 直子氏

新熱工業　▶設立＝1982年10月▶資本金＝3000万円▶売上高＝約8億円▶従業員＝60人▶特長＝業務用厨房器フライヤー用ヒーターで国内シェア70％

高シェア製品

中嶋　ありがとうございました。それでは次はニッチな業界であっても、その業界でどのようにトップシェア製品を生み出してきたのかを紹介してもらいたいと思います。大谷さんと高橋さんには経営戦略の観点から、高山さんと富田さんには人材育成を含めた、コア技術の高度化についてお話いただきたいと思います。大谷さん、シーズヒーターの開発がコア技術ということでしたが、営業戦略についてご紹介をお願いします。

大谷　後発のため、危機意識がありました。競合他社と同じ商品を製造しても価格競争力でかなわないと考えた創業者の父は、海外のヒーターメーカーの生産方法を研究し、どうしたら付加価値の高い商品を開発できるか考えたそうです。

価格競争の激しい、食品市場の厨房器市場で、どうやって勝ち残るかを考えた時、店舗で使うお客さまがどんな問題を抱えているのか、問題を解決できる製品を提供することが必要であると判断しました。フラットヒーターはこうした過程で生まれた商品です。

大事なのは、直接取引のお客さまの声だけでなく、その先のお客さまの声を得られないと市場のニーズはつかめないということです。もちろんニーズに見合った商品も製造できません。

困り事受け入れ共同開発

「一歩先」で差別化

高橋 日出男 氏

協立製作所　▶設立＝1958年2月▶資本金＝9400万円▶売上高＝約55億8000万円▶従業員＝276人▶特長＝油圧ショベルに使われるコントロールバルブのスプールで世界シェア約40％

中嶋　協立製作所は研削技術をコア技術としています。応用してスプールを製造していると思いますが、どのように市場を拡大してきたのでしょうか。

高橋　油圧機器の世界市場は4兆円といわれています。国内では日本フルードパワー工業会の油圧部門で、11年度の出来高が42００億円で、建設機械メーカーの内製化分を推計すると、国内には約6000億円の市場があります。

売り上げ構成は、スプール、ピストンポンプ、バルブ、専用部品の4部門がありますが、今後はスプールと、OEM商品のポンプやバルブを中心に展開していきたいと考えています。ちなみに11年度のスプールの売り上げ実績は月平均約7万本となっています。

スプール製造は、30年前、お客さまから標準スプールを製造している会社が特殊加工は出来ないと言っているので、特殊加工を協立で出来ないかと依頼されたのがきっかけです。工具メーカーに注文しても特殊加工の工具はありませんでした。そこで自社で工具を作り、加工することにしました。お客さまに大変感謝され、その後スプールの全加工もやらせて頂くようになりました。

次第に特殊品が市場に出回るようになると、特殊品が標準品となったため、さらに難しい加工に挑戦するようになりました。その間に16工程あった機械加工の工程数を徐々に減らして行き、近年1工程でできるようにしました。

当社はニッチを最初から目指したわけではなく、お客さまの困っていることを受け入れ、一緒に開発していった結果、スプールのシェアが高くなりました。

経済講演会

日本のモノづくりを支える　茨城の優良企業

YAMATO
ヤマト精機株式会社
代表取締役　萩原　晃
〒308-0837　茨城県筑西市嘉家佐和2101
☎0296-25-3488　FAX 0296-25-3490
E-mail　yamato11-22@celery.ocn.ne.jp

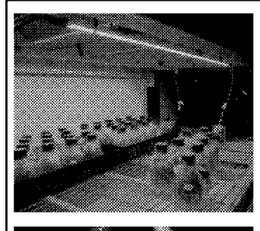
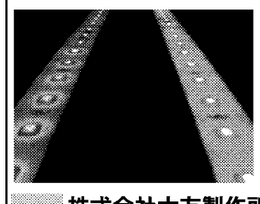
各種研削盤用
砥石フランジ
内径・外径用マスターゲージ
http://www.inamism.co.jp　●各メーカー対応 ●オーダー製作可
株式会社 稲見精密　本社工場 〒308-0001 茨城県筑西市樋口774-3　TEL 0296-25-0892　FAX 0296-25-0827

“超平滑面への挑戦”
半導体材料、酸化物単結晶、光学部品材料、金属材料等の超精密研磨加工及び周辺技術
EXCEED 日本エクシード株式会社
〒303-0043　茨城県常総市内守谷町4382-4
TEL 0297-27-1531㈹　FAX 0297-27-1536
http://www.nihon-exceed.co.jp

「電子カルテ」の開発・販売ビジネスを
一緒にやって頂ける会社との提携を模索しています。
興味がありましたらご連絡下さい。
株式会社 東日本技術研究所　East Japan Institute of Technology Co.,Ltd.　TEL 0294-52-8888

株式会社　エイ・イー・エス
〒305-0032 茨城県つくば市竹園 1-6-1
TEL:029-855-2001　FAX:029-855-9815

株式会社 協立製作所
茨城工場 〒309-1105 茨城県筑西市三郷1239　TEL.0296-57-6151(代)　FAX.0296-57-9842

(株) 大友製作所×農家共同開発
植物・きのこ用LED照明
「AGRI MATE（アグリメイト）」　株式会社大友製作所

・120cmあたり8-13Wの省エネ!!
・農業、栽培、研究利用に特化した、ユーザーフレンドリーな製品設計!!
1、超薄型（わずか7mm）!
2、低発熱(35-40℃)！
3、防水/防湿設計！
・ニーズに合わせたカスタマイズ共同開発に対応可能!!!


お問い合わせ
株式会社大友製作所（日本）/Bigmate Philippines(フィリピン)
TEL：0293-23-3511（日本・営業企画部　友部）
+63-917-849-7530（フィリピン・営業企画部　岸）
URL：http://ootomo.jp　E-MAIL：kishi@ootomo.jp（営業企画部　岸）
FACEBOOK：「農業用LED」でFacebookページ、あります。